



永年勤続功労賞の章記を手にする林団長

## 林団長・金井さんに消防表彰

平成30年度消防功労者消防庁長官表彰式が3月6日に東京都で開催され、村消防団長の林正明さん(生越)に永年勤続功



表彰状を手にする金井さん

労賞が贈られました。林さんは、昭和62年の入団以来、長年にわたり消防団活動に従事され、平成30年からは消防団長として村の安全確保に取り組まれています。また、3月15日に群馬県消防大会が前橋市で開催され、同副分団長の金井真一さん(椽久保北部)の妻・明美さんが群馬県消防協会会長表彰の家族の部で表彰されました。金井さんは、永年にわたり夫・真一さんの消防団活動を支えてこられ、地域の安全に貢献されています。

## 大久保君が県中学総体スキーで優勝

第53回群馬県中学校総合体育大会のスキー競技会が1月15日、嬭恋村の鹿沢スノーエリアで行われ、中学男子の部大回転に出場した大久保溪悟君(根岸)が見事優勝に輝きました。大会では、硬い雪質に転倒者も出た荒れた状況の中、大久保君は出場者でただ一人、2回とも41秒を切る好タイムを出し、県総体で初優勝を飾りました。



優勝に輝いた大久保君

ち着いて無心になりました。去年の失敗を今大会で生かすことができ、とにかく嬉しいです」と喜びを語りました。



全中の写真です



講師の松田先生による講演

ふるさと歴史  
文化講座を開催

昭和村ボランティアガイドの会(角田勝美会長)は3月16日、村公民館で第17回ふるさと歴史文化講座を開催しました。

「ふるさと昭和・群馬」の歴史文化を再発見してもらおうと開催された講座には、村内外より昭和村の歴史に関心を持つおよそ50人が参加。群馬地域文化振興会常務理事の松田猛先生を講師に招き「ユネスコ世界の記憶」に認定された「上野三碑」の成り立ちと、その碑の背景ともいえる赤城山麓の歴史について、講演が行われました。

## ふるさと大使懇談会を開催

昭和村の知名度向上のため、その魅力を広くPRしてもらおうと、新たに10名の方々が「昭和村ふるさと大使」に任命され、その委嘱状交付式および懇談会が



懇談会に先立ち乾杯

3月22日、昭和の森山荘などで開かれました。これにより同ふるさと大使は総勢59人となりました。委嘱状を受けた新木恵一さん(三ツ谷)は「大好きな昭和村をいろいろなところにPRしていければ」と話していました。

### 新たに委嘱された方々(敬称略)

▼新木恵一(大学教授)、瀬川祥子、田村聡一郎、井上直(以上、会社員)、高橋奈保子(歌手)、なべやかん、けーすけ(以上、タレント)、ルサンチマン浅川、近藤六(以上、芸人)、荻野真理(アナウンサー)

## 村民芸能祭で

### 文化功労者を表彰

村文化協会(眞下直治会長)主催の第37回村民芸能祭が開催されました。ステージ上では各団体の見事な舞踊や演奏、歌やダンスなど計28演目が披露され、客席からは大きな拍手が送られていました。

また、芸能祭の開会に先立ち、村の文化の普及振興に永年にわたり貢献された、昭蘭書道会の中島菊野さん、三舞会の竹之内みち江さん、コーラス・アンダンテの堤泰洋さんに、同協会の眞下会長から文化功労賞が贈られました。

## 家族で家族経営協定書に調印

家族経営協定調印式が3月28日、役場会議室で行われました。  
この協定は、農家が、家族間の立場を尊重し、役割分担や就業条件などを明確にして、やりがいを持って農業経営を行っていくことを目的に、平成12年度から村と農業委員会が推進しているもの。  
今回で18回目となる調印式には、新規の締結となる2家族と、内容の見直しのため再締結を行った4家族12人が臨み、これまでの締結数は160家族となりました。  
協定書に調印後、代表として七五三木清



謝辞を述べる七五三木さん

さん(赤城原第二)が「家族経営協定を実践し、近代的で安定した農業経営の確立など本村農業の発展に向けて頑張りたい」と謝辞を述べました。



協定書に調印する家族



文化功労賞表彰式(左)と、披露された見事な舞踊

